

ふく チャレ

小高でチャレンジをして、 魅力ある地域を創りたい



活動拠点のカフェ「Odaka Micro Stand Bar ^{オムスビ} (OMS B)」。小高に来て何をするか迷っていた時に、「悩んでいるのなら、マイクロスタート、小さなことから始めてみよう」と思ったのが、その名のきっかけだったと話す森山さん。

縁

あつて南相馬市小高区に移住した森山さん。「この地域の人がやりたいたいと思っ

たことを後押しできる」環境を作るため活動をスタートしました。震災・原発事故の被災地である小高にはさまざまな課題が山積しています。森山さんは、IT企業で働いていた経験を活かして地元の高校でプログラミングの授業を実施。「自分たちにもできるんだ！」という達成感を体験してもらっています。そして、地域の課題に立ち向かい、この町で自分も何かしたいと思ってもらうための取り組みや、幅広い世代が参加できる数々のプロジェクトを立ち上げています。

「今、一番大切なことは、ここに集まって地元で『何か新しいこ

一般社団法人
オムスビ 代表理事
もりやま たかし
森山 貴士さん



地元の高校でプログラミングの授業。「できなかったこと」が「できる」に変わる喜びと発見がここに。



店舗のフリースペースには、カフェを訪れた子どもたちが自由に楽しく描いた絵があります。



「小高でこれから何をしたいかみんなで考えてみる会」での打ち合わせ。今の小高を担う大人世代の方々が真剣に語り合います。

とをやるう」としている私たち大人世代が、きちんと成果を残して、若い世代にその姿を見せることだと思っています。このチャレンジで、小高が「人が定着する持続可能な地域」に育っていけば、それが全国のまちづくりのモデルにもなると話す森山さん。その目は、魅力ある小高の明日を見つめていました。